

私の算数論

私の算数ダイジェスト!

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 21 22 23 24 25

①小1~小2

・この前、小2か小1の時のテキストが見つかったので、
見てみたら、かけ算を~~も~~していて、びっくりしました。

・このころの問題の中には、答えが3になる問題

○ を作ったりしていて、このころの算数には、想像力が
必要だと思いました。

②小3~小4

・このころは、図形が楽しくて、図形はホーナス問題でした。

③小5~小6

・小数が出てきたり、複雑な~~計算~~が増えてきて、
大変でした。

○ 中学校では、なるべく難しい問題にも~~進んで~~チャレンジして
いきたいです。

!!もんだい!!

A美さんは、道で100円を拾いました。

そのあと、10円かみ^(1個)を買ってから、

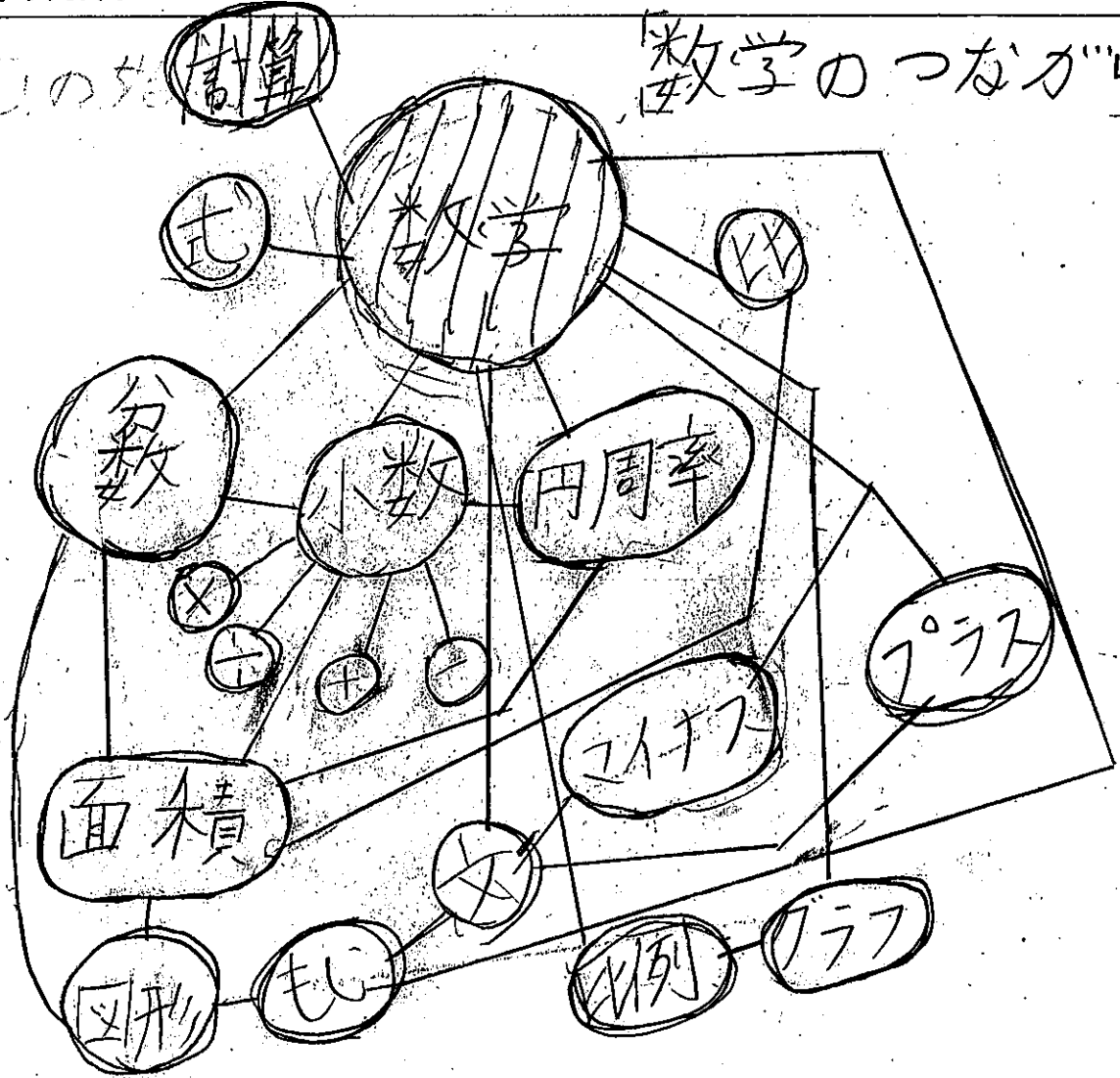
百貨店レモンの税無しデーで買い物をして、1000円はらい、
600円おつりが帰ってきました。

A美さんの所持金は、2500円になりました。

A美さんの最初の所持金は何でしょう?

私の算数論

〇〇の始 (計算) 『数学のつながり』



「この事が、いろいろ
な事につながり、出来て
いる。」

私の算数論

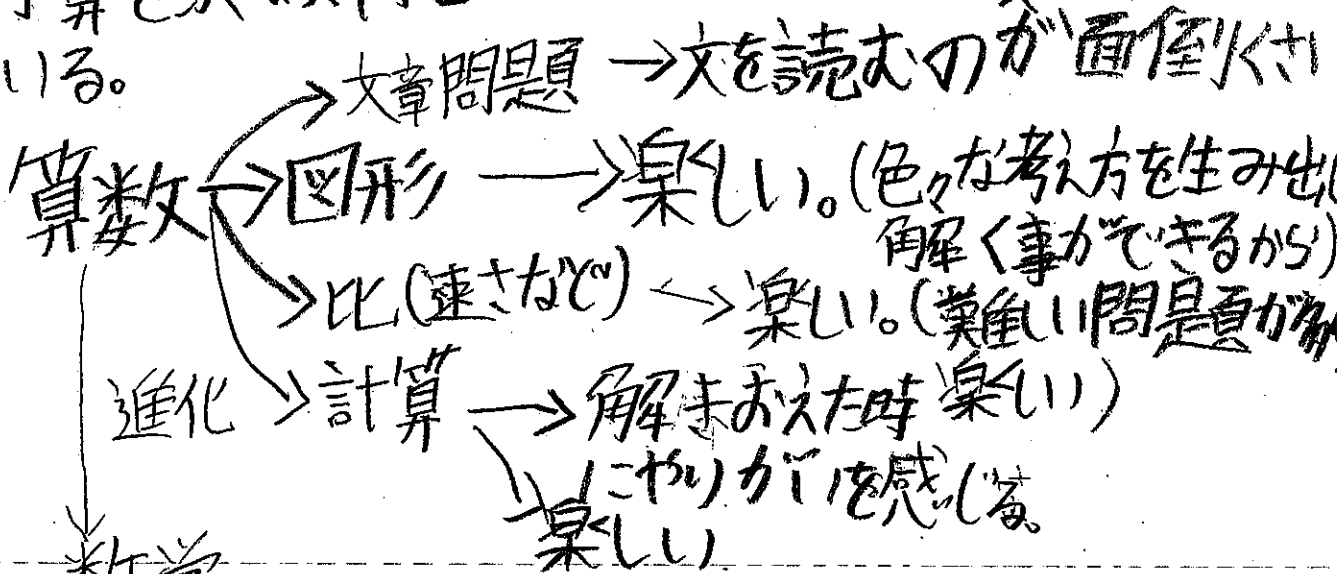
物事の計算などに使う。

例) お金の計算。

・どこかに行く時、何分かかるか？

数字(例えば5)を見た時、自分で計算式を考え、計算してる。

予算を決め、何を買いのかが決めてから、買い物に行ける。



自分は
式が長いと、こんがらがって、分からなくなる。楽しい
けど苦手。例) $(5-8) \times (2^2+8) - (-9+6^2)$
特に苦手なのは、文字式で、大変。辛い。
得意なのは文章問題。

算数 > 数学

私の算数論 ∞ という数字について

∞ という数字は、非常に扱いづらい数字である。
 ∞ という数字は、これといえるものがなく、古代から人々を
 悩ませてきた。

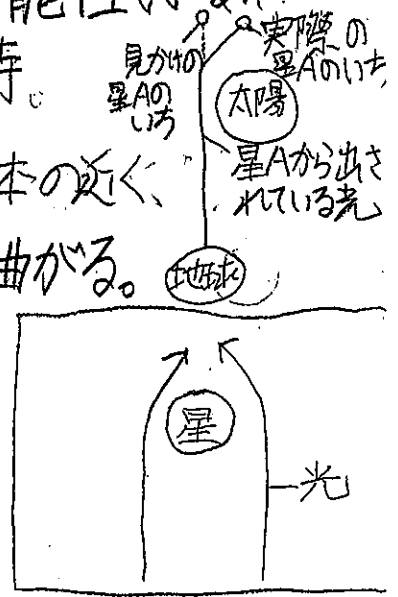
例えば、 $2 \times \infty$ という式は、 ∞ が二個あるということになる。
 しかし、 ∞ は永遠なので永遠が二個あるということになる。

だから、 ∞ ははっきり言って面とくさい数字だ。

でも、 ∞ はデジタル化できるかもしれない。その可能性はある。
 それは、「非ユークリッド幾何学」が成り立つ時。
 しかないと考えている。

物理の話になってしまうが重力が強い天体の近く、
 =質量が多い天体の近く = 重い天体の近くは、光が曲がる。

空間をゴムシートとして例えた場合、天体(星)の側を
 通ると光は曲がってしまう。光は直線に行けませんがそれを
 曲げてしまう。



つまり、天体の近くは直線が曲がってしまうのだ。
 そうなると、数学の根本がくっがえされてしまう。
 非ユークリッド幾何学が成り立つ所を非ユークリッド的な所と呼ぶが

非ユークリッド的な所 = 天体の近くとなる。
 数学の常識が通じないのが非ユークリッド的な所だ。

話を戻すが、 ∞ はデジタル化できないというのが数学の常識だ。
 しかし、非ユークリッド的な所は常識が通らないので、 ∞ はデジタル化できる
 かもしれない。

幾何学というのは図形を扱う数学の事なので、
 ∞ はデジタル化できないが常識が通じない
 ので、もしかしたら $\infty = ?$ が求められ
 る? と僕は考えている。

